

# 町制施行90周年！次の100年へ！ ゼロカーボンシティの町 あさかわにむけて

- 浅川町では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて脱炭素に関わる様々な取組を実施しています。
- 取組により、2024(令和6)年度温室効果ガス(CO2)排出量は年間946t。(2013(平成25)年度比▲428t 削減、-31.1%)
- 全公共施設でのごみの分別の徹底をした結果、2022(令和4)年度に比べ可燃ごみ16tの削減。

## 具体的な取組内容

### 1. 節電・節水

#### ◎ 全公共施設において『省エネ診断』を受診

→各改善提案等の内容を確認し現状の課題を把握することで、温室効果ガス及びエネルギーコスト削減のための省エネ行動に努める。

### 2. 使用燃料の削減

#### ◎ 公用車に環境負荷の少ない電動車等を導入

→新たに電気自動車（ホンダN-VAN E:）の導入と充電スポットを新設。



### 3. ゼロエミッションの取組

#### ◎ 再生可能エネルギー設備導入のための調査を実施

→導入可能とされた13施設に今後設置予定。



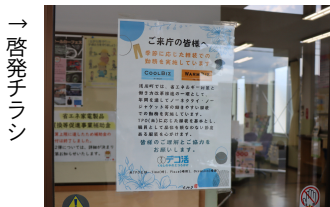
←太陽光発電設備  
の設置事例  
(浅川中学校)

太陽光40kw/h  
蓄電池20kw/h×2基

### 4. 気候変動への適応

#### ◎ 通年輕装の実施（クールビズ、ウォームビズ）

→役場庁舎入口にチラシを掲示し、住民へ啓発。



#### ◎ クーリングシェアターの設置、サロンで高齢者へ熱中症対策の講話



←熱中症対策講話  
の様子

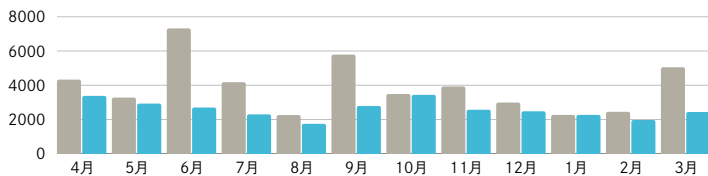
### 5. プラスチックごみ対策、食品ロス削減の推進

#### ◎ 令和5年度に続き、全公共施設でごみの分別の徹底



＜可燃ごみの比較グラフ＞

● R4年度（分別前） ● R6年度（分別徹底後）



16t以上のごみの減量に成功し、令和5年度と比較しても約1tの減となりました。

### 6. 二酸化炭素排出量の見える化への取組

#### ◎ 全公共施設において、環境省『LAPSS(地方公共団体実行計画管理等システム)』により、毎月のエネルギー使用量及びCO2量を把握

システム入力画面



温室効果ガスの活動別排出量 (CO2換算)

(単位: kg-CO2)

| 項目   | 平成25年度<br>(基準年度) | 令和6年度   | CO2換算排出量 |        |
|------|------------------|---------|----------|--------|
|      |                  |         | R6-H25   | 増減率    |
| ガソリン | 40,789           | 41,047  | 258      | 1%     |
| 灯油   | 106,975          | 64,416  | ▲42,559  | ▲39.8% |
| 軽油   | 24,898           | 11,765  | ▲13,133  | ▲53%   |
| LPG  | 58,740           | 32,123  | ▲26,617  | ▲45%   |
| 電気   | 1,142,628        | 797,074 | ▲345,554 | ▲30%   |
| 合計   | 1,374,030        | 946,425 | ▲427,605 | ▲31.1% |

【基準年度】

平成25年度  
1,374t  
(CO2換算)

【昨年度】

令和6年度  
946t  
(CO2換算)

428tの減少  
(-31.1%)

### 7. その他独自の取組

#### ◎ 小中学校を含む全公共施設においてグリーン購入への取り組み

→6月に公表された地方公共団体における『グリーン購入の取り組みランキング』において、浅川町は全国1,788団体中172位(県内60団体中3位)、ゼロカーボンシティ表明団体(1,161団体)において155位(県内25団体中2位)。

#### ◎ 庁内における活動推進のため福島県地球温暖化防止活動推進員養成研修会受講

## 今後の計画や展望

浅川町では、『笑顔あふれる ゼロカーボンのまち あさかわ』を将来像とし、『ゼロカーボンシティの町あさかわ』の実現に向け、地域資源を活用した再生可能エネルギーの最大限の創出や省エネなどの温暖化対策の取組をさらに加速させるとともに、他の幅広い分野でも総合的な取組を展開していきます。